

7/14(日)に学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2019 にて自然科学部化学班が、講座プログラム型「液体窒素、空気砲、新型スライム」を出展してきました。

Update 2019/07/25

『学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ』とは、ブラックボックス化した現代社会で実感する機会の少ない科学や技術の"プロセス"を子どもから大人まで五感で感じられる場づくりを目指し、既存の枠を超えた多様な主体と連携のもと、学都仙台・宮城の地で、2007年から毎年開催している体験型・対話型の科学イベントです。本校では6年前から毎年出展しています。今年も、化学班の生徒が液体窒素、空気砲、新型スライムを40名、6歳から16歳を対象として、2回実施しました。最初は緊張していた生徒たちも子供たちの元気な笑顔や質問に大きな声でたくさん答えてくれることでやりとりを楽しんでいました。



自然科学部化学班の生徒たち



液体窒素



空気砲